

太陽の子

2014年 7月 No.148

夏の号

発行

日上市助川町5-14-8

TEL(23)2620 FAX(23)2620

ホームページ <http://www.taiyonoie.com>

Eメール mail@taiyonoie.com

NPO法人 日立太陽の家

日立重症心身障害児(者)を守る会

日上市太陽の家支える会



茨城県守る会の東京ディズニーランド日帰り観光旅行に参加しました。
おいしいごはん楽しい乗り物で満足な旅となりました。

出会いに感謝

管理者 菊地 祐二

幕末の世(天保七年)、他国からの侵入を防ぐため築かれた助川海防城。現在、その一角に障害児者を守る七つの施設が整備されています。ここでは生産活動、創作活動、療育、訓練等それぞれの役割を担って有意義な時間を共有しています。朝「おはようございます」の声や優しい表情で挨拶を交わす時、何とも心地よい気持ちになります。早速昨日見たテレビの話や今日は何をして過ごすのか等、コミュニケーションがどんどん広がっていき親近感が生まれ、今日も一日よろしく、お互い頑張ろう、楽しもうという気持ちを込めて「ありがとう」と感謝の念が沸き上がってくるのを感じます。

最近、全国的に虐待のニュースを耳にします。支援者の思いに込めてくれない利用者に対して負の感情が増し、罵声、暴力、無視する……それが利用者のためを思っている行為だと考えているのなら甚だしい間違いで、相手の価値を認めず利用者が傷つくのは明白です。ある時、いつもと様子が違い元気のない利用者に対して、その原因を導きたい思いで、執拗に声をかけ過ぎてしまい、パニック(逃げ出してしまう)を起こしてしまいました。理由はどうであれ自分の欲望やエゴを押しつけて嫌悪感を抱かせてしまったことに気づかされました。

年間を通して施設には実習生が訪れます。その際「自分が笑顔になれば相手も笑顔になる、自分が嫌だと思おうと相手も嫌になっちゃう」と伝えていきます。心を開き、楽しくふれあい、学べたことに感謝し、おかげでとてもいい実習ができて「ありがとう」と思えた時、その実習は一層輝きを増し、生涯忘れ得ぬ素晴らしい体験となるでしょう。

陽光の 城址に皆の笑顔咲く

出会いに感謝 心ひとつに

早いもので……

介護福祉士

黒田 如恵



太陽の家に入職して早半年が過ぎようとしています。

専門学校を卒業して約16年。重症心身障害児(者)入所施設でお世話になっていました。他の職場を知らず初めはとても緊張していました。が、利用者さんやご家族・職員のお笑顔と優しさに支えられ、毎日楽しくお仕事をさせて頂いています。

今までは入所施設と言う限られた空間の中で安全で幸せを感じられる生活をどうしたら過ごしていけるかを日々考え、一人一人に合った支援を心がけていました。入所されている利用者さんの年齢層は幅広く最年少2歳半、最年長67歳……
楽しいこと・嬉しいこと・辛いこと・悲しいこと……沢山のドラマがありました。いろいろな関わりを持つにつれて、この子達(方達)がお家にいたらどのような生活で過ごしているのだろうか?と考える

ようになりました。ご家族に外泊時の様子を伺っても想像が出来なかつたのです。そんななか「太陽の家」でお世話になることになり、沢山の在宅生活をされている方達に出会うことが出来たのです。在宅での過ごし方や様子を知ることができ、感動しています。自立を支えることの大切さを実感し、今までの経験や知識・技術が少しでもみなさんのお役に立てたらと思っております。

太陽の家でお世話になって

介護福祉士

山本 郁美



太陽の家居宅介護でお世話になって、6月で4ヶ月になりました。始めの頃はとまどってばかり、利用者さんの名前を覚え、流れについて行くのが精いっぱいでした。

高齢者施設で働いていた経験を生かせればと、思っていました。が、関わり方が全く違う障がい者の皆さんとコミュニケーションを取ることにから始め、様々なやり方を覚えるのは大変でした。職員の皆さん

んから教えて頂きながら、失敗しながらですが、皆さんともっと楽しい時間を過ごせれば、と思います。これからの子供のことでご迷惑をかけたりますこともあると思います。が、頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



職員紹介

日立太陽の家風の家



椎名 桂子

日立市太陽の家



菊地 康太



坂内 詩織

日立市ひまわり学園



赤津 陽子



藤田 恵美子



富岡 昌弘



瀬谷 裕子



高橋 毅也



福田 法子



油座 法子

日立市しいの木学園



川崎 美香子



穂積 とし子



鈴木 雅明



齋藤 恵美子



松山 弘子



神山 千恵子



矢吹 順子

日立守る会だより

日立重症心身障害児(者)を守る会

会長に就任して

日立重症心身障害児(者)を守る会会長

藤枝 利彰

この度、四月十三日に行われ
ました平成二十六年日立重症
心身障害児(者)を守る会総会に
て、永年努められてきた佐藤会
長に替わり、後任として会長の
大役をおおせつかり会長職が務
まるか不安でいっぱいです。今
後とも前会長、及び皆様のご指
導及びご協力を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

佐藤前会長は平成六年より
二十二年間と長きにわたり当守
会の発展にご尽力いただき誠に
有難うございました。

今後とも顧問として守る会に、
お力添えをお願い致します。会
員の皆様方には子供たちの幸
せを願う親としての責任を果た
すよう、県、日立市等の各行
事、研修会には積極的に参加し
ていただき、いろいろな方の講
演等を聞き見聞を広めていた
きたいと思ひます。先日茨城県
重症心身障害児(者)を守る会
で茨城県障害福祉課の長野主事
による説明があり、障害者自立
支援法(平成二十五年二月)が平
成二十五年四月より障害者総合
支援法に変わり施行され制度が

大きく変わっており、その中の
ひとつ「障害程度区分」を「障
害支援区分」に改め、その定義
を「障害者等の多様な特性その
他の心身の状態に応じて必要と
される標準的な支援の度合を総
合的に示すもの」として厚生労働
省令で定める区分」とし、平成
二十六年四月に施行されました。
親としても制度の見直しがあ
るなかで、その都度、理解を深
めていかないといけないと思ひ
ます。

平成二十八年四月には日立
重症心身障害児(者)を守る会の
五十周年の記念の年になります
ので、皆様方のお力添えをいた
だき記念行事等の計画を立てた
いと思ひます。

佐藤前会長には長い間会長
を務めていただき誠に「ご苦勞様
でした。
最後に会員の皆様方には、何
でも結構ですので、困り事や質
問等がありましたら相談してい
ただきたいと思ひます。

日立守る会会長

退任にあたって

佐藤 芳昭

平成六年四月日立守る会会
長をおおせつかり、爾来今日ま
で二十二年間、会長以外の役職を

含めますと三十年有余にわたり
皆様と共に活動してまいりまし
た。その間会員の皆様はじめ諸
先輩及び関係者の方々には大変
お世話になりました。至らない
私を今日まで支えて頂きました
事に心から厚く御礼申し上げます。
長い間本当に有難うございま
した。これからは、顧問とい
う立場の皆様と一緒に活動にな
りますので、新会長共々今後と
も相変わらぬご指導、ご協力の
ほどよろしくお願い致します。

さて、私が長期間にわたり
役職を務めて感じた事ですが会
活動に関わりを持つて下さるお
父さん方が少ないという事です。
この傾向は当守る会だけの問題
でなく全般的に言えることなの
です。現役の方やリタイアされ
ていても体調などが思わしくな
い方などは関わられるようになって
からで結構なのですが、そう
でないお父さん方には積極的に
会活動に関わって欲しいと日々
思っております。お母さん方は
子供を看ながらの活動が殆どで
あり、大変であると同時にどう
しても活動が制約されてしま
う嫌いがあると私は感じておりま
す。

障害児(者)福祉施策もこれ
から色々見直されたり、新た
な施策が出来たりなど従来以上
に変化していく傾向であり、こ
れからはお父さん方の力が必要
になると同時に重要になってく
ると私は思っております。
私は守る会に入会以来今日

まで思い続け、その実現を時に
触れ折に触れて声を出し続けて
きた事があります。それは日立
市内に重症児者が入所出来る施
設とともに短期入所が出来る施
設の設置を実現して頂くことで
した。しかし私の力不足で実現
出来なかった事については誠に
申し訳なかつたと思っております。
しかし、私はこれからもこ
の思いを持ち続け実現に向けて
挑戦し続けていこうと考えてお
ります。

当守る会も平成二十八年
が設立五十年となります。設立
当時の福祉環境は非常に劣悪な
状況であつたため障害児(者)
を持つ親達我が子の幸せを願
い特にお父さん方が結束して
諸々の活動を進めて来られたと
伺つており、その結果今がある
と私は思っております。当時と
今とでは環境が違うにせよ学ぶ
べき所があるのではないでしょ
うか。

当守る会も先人達が築いてこ
られた歴史の上に新しい歴史を
積み重ねていく事が子供達の幸
せにつながると思ひます。
此の世に生まれてきた以上
は、生き甲斐ある人生を送れる
ような環境作りをしていく事も
親達の義務であり、お父さん方
にも今迄以上に会活動に関わり
を持つて頂き、会の歴史を積み
重ねていく事が出来れば素晴ら
しいのではないかと強く思つて
おります。

史を作っていくには、お母さん
方の力も必要ですがお父さん方
の力もつと必要であると痛感
しております。今後とも子供達
の幸せの為に力を合わせお互い
に頑張っていこうではありませ
んか。

思い出は限りなく

与沢 千代子

NPO法人日立太陽の家にお
世話になり息子も二十六年にな
ります。私も守る会に入会し理
事として元会長伊藤様を始め
前会長の佐藤様には大変お世
話になりました。以前息子が歩
いている頃は毎回のようにな国
大会にも参加してきました。特
に第三十三回大分府での大会
で息子と共にお世話になった別
府の工藤晃弘様から毎年年賀
状が届きます。最近では病氣知
らずだった息子も身体の変形に
伴い内臓の働きも弱くなり昨年
は入退院のくり返しで理事の皆
様にはご迷惑をおかけ致しまし
た。月一度の理事会に出席する
のも色々の状況が聞けたり有意
義な時間でした。前年度で理事
をやめる事になりました。これ
からは息子と私の健康管理をし
ながら一日でも長く息子に寄り
そつて歩んでいきたいと思ひま
す。そして障害のある人達が地
域で生き生きと生活出来るそん
な街に早くなつてくれる事を望
みます。今後共よろしくお願ひ
致します。

当守る会をこれまで以上に進
展させ、今迄の歴史に新しい歴



グループ活動でひたち海浜公園へ行って来ました。たくさんのお花に囲まれたりと、あまり経験できない事を経験することができました。(太陽の家)



ソファーからお台所の様子を眺めていると食事を作ってくれている川又さんが出てきてくれました。楽しいひとときです。(風の家)



“みんなで力を合わせ”ダンボールの組立てをします。(しいの木学園)



小グループ活動で国営ひたち海浜公園に行ってきました。トレインに乗り、広大な敷地を1周。花や乗り物を楽しみました。(ひまわり学園)

新たな自分



介護福祉士
根本 綾奈

風の家から居宅へ移動となり、今までとは違う毎日に初めはおどおど……うろろ……。そんな私をみて「こうやるんだよ」「これを使うんだよ」と教えてくださる利用者の皆さん。少しずつ一人一人の入浴の仕方、好きなドライブ道、好みの食べ物などを知ることができている毎日です。

皆さんと一緒に入浴では、一人一人の入浴中の遊びの買物では、真剣に選ぶ姿を見られること。景色を見ながらのドライブやお散歩など……。皆さんと過ごす一日には、私にとって皆さんの新たな顔を発見でき、温かい笑顔に包まれ、幸せな日々を送ることができています。そんな中、私事ではありますが、六月二十日から一年間、産休・育休に入らせていただきます。皆さんと笑顔で過ごせる日が待ち遠しいですが、また一緒に過ごせる日を楽しみにしています。戻って来たときには、またよろしくお願いします。

お知らせ

二名の職員が産休明けで職場に復帰しました。それぞれの事業所で以前よりさらにパワーアップして頑張っています。



日立市ひまわり学園
玉木 美沙



日立市太陽の家
菅原 友梨

◎平成二十六年年度
日立太陽の家利用者数

七十三名
男性三十六名
女性三十七名

ご寄付ありがとうございました

○次の方から寄付を頂きました(敬称略) 三月～五月
親切会関東支部部長 高田佳昭
三輪武子 鈴木貫一
日立市太陽の家ボランティアグループ 日立市太陽の家支える会 善和会 佐藤瑞昭
○次の方から物品の寄贈がありました(敬称略) 三月～五月
椎名将光 中田美知子 有馬郷子

編集後記

夏祭り、プール、園外活動
楽しい行事が盛り沢山。みんなのパワーで暑さを吹き飛ばしましょう
(K記)